

第 18 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和 4 年 7 月 25 日 (月) 13:30 ~ 15:18
方 法	WEB 会議
出 席 者	委 員) 今井委員、大槻委員、根本委員、幸村委員 計 4 名 事務局) 須藤局長、有金管理部長、伊藤担当部長 (総務課長事務取扱)、安武公金管理課長、瀧澤資金運用担当課長、春日井統括課長代理 (企画調査総括)、松原課長代理 (運用管理担当)、山本主任、鈴木主任 計 9 名
欠 席 者	なし
議 題	1 本決算等を踏まえた評価について (1) 邦銀の本決算を踏まえた評価について (案) (2) 外銀の本決算等を踏まえた評価について (案) (3) 債券発行体の動向等を踏まえた評価について (案) 2 今後の公金管理について (1) 金融機関等評価における非財務的要素の取扱いなどについて (案)
要 旨	<p>(1) 会計管理局長挨拶</p> <p>(2) 第 18 回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決め 事務局 本会議は、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑みて対面の接触を回避する必要があるため、傍聴者の受入れを見合わせた。また、本会議は設置要綱により、公開もしくは非公開について、委員の意見を聞くこととなっている。 委 員 議題の内容を踏まえ、全員が非公開とすべきとの意見を表明。</p> <p>(3) 議題 1 (1) 邦銀の本決算を踏まえた評価について (案) 事務局 預金先金融機関 (邦銀) の経営状況について、本決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関 (邦銀) の評価等を報告した。 委 員 預金先金融機関 (邦銀) の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものと考ええる。 委 員 米国金利が上昇しているが、円金利も含め、金利変動の影響は重要な視点である上、金融機関により状況が大きく異なる可能性もあることから、個別に銀行へヒアリングするなど、可能な範囲で、貸出金や債券の金利感応度も把握しておくとうよいと考える。 委 員 大手行のみならず、地域銀行においても、ウクライナ情勢による資源価格の上昇や、半導体不足、サプライチェーンの混乱など、世界情勢の影響を間接的に受けることになるため、注視が必要と考える。 委 員 現在の経済・金融情勢を踏まえると、各金融機関の預金獲得ニーズは依然として低調な傾向が続いているとは思いますが、引き続き分散管理を行うべく、邦銀・外銀問わず、きめ細かに状況把握を行うなどしながら取組を進めてほしい。</p>

(4) 議題1 (2) 外銀の本決算等を踏まえた評価について (案)

事務局 預金先金融機関(外国銀行)の経営状況について、本決算等を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関(外国銀行)の評価等を報告した。

委員 預金先金融機関(外国銀行)の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとする。

(5) 議題1 (3) 債券発行体の動向等を踏まえた評価について (案)

事務局 債券発行体の経営状況について、決算等を踏まえて、健全性等の観点から分析を行い、債券発行体の評価等を報告した。

委員 債券発行体の評価内容とそれに応じた債券運用の対応については、適正なものとする。

(6) 議題2 (1) 金融機関等評価における非財務的要素の取扱いなどについて (案)

事務局 非財務的要素としての ESG の視点を、今後いかに公金管理へ活用していくかについては、公金管理に求められる要素や、整備途上である各 ESG 評価指標の性質等を十分検証した上で判断していくことなどについて説明した。

委員 信用格付には ESG の要素が既に含まれていることから、安全性の更なる向上を目的とした ESG の視点は、現在の都の評価体系にも織り込まれているといえる。

委員 安全性向上を目的とする以外にも、ESG 要素は活用の余地はあると思うが、その検討にあたっては、法的根拠の整理・確認などで正当性を担保しておくべきと考える。

委員 ESG の指標は、現段階では発展途上であるため、既存の指標に係る分析を行うとともに、引き続き、その改善・整備動向を注視し、検討を更に深めていただきたい。

委員 公金管理では、地方自治法に規定される安全性を重要視する考え方は崩せず、適当な ESG 指標がない現状では難しいが、今後もし、ESG 指標が改善・整備されるなどで金融機関評価に活用できる状況となれば、その方針を発信することで、公金管理でも金融機関における ESG の更なる推進を促し、結果、企業価値が向上していくという好循環の構築に寄与できる可能性もあるので、その場合検討が必要と考える。

以上